

柴田孝之著「試験勉強の技術 - 東大・司法試験に一発合格、あらゆる試験に強くなる 91 のヒント - 」
ダイヤモンド社 2010年3月11日刊を読む

答え合わせは必ずせよ

1. 問題を解いたら、解きっぱなしにしないで、答え合わせをします。これをしなければ、弱点の発見ができません。だから、勉強の効果はほとんど期待できません。能力を高めるのは、弱点を克服したときだということを忘れないでください。
2. 答え合わせで、間違えた問題が発見できます。間違えた問題の中に弱点が隠れています。だから、間違えた問題だけを検討します。
3. 間違えた問題の中には必ず弱点が隠れています。だから、これだけを勉強すれば、100%能力がアップできる、質が高い勉強ができます。
4. 正解した問題でも、その過程に誤りがある場合があります。とすれば、正解した問題もきちんと解説を読んだ方がよいとも考えられそうです。しかし、正解した問題には弱点が隠れていない方が多く、どうしても無駄が出てきます。正解した問題の中に隠れている弱点の発見・克服は、ここからの課題にすれば十分です。先に明確な弱点を克服した方が効率がよいのです。

P130

[コメント]

模擬試験の過去問を5年分解くときに、どのような点に注意すればよいかが、柴田先生の本書でよく分かる。

学校や塾の先生の授業を受けるようなつもりで、正解した問題も含めて問題の解説をゆっくり、ゆっくり、一語一語かみしめるように読み、「ああ、これはこういうことだったのか」「うん、なるほど」と十分に「理解」することが大事かと考えます。

柴田先生の本書は、勉強の仕方(学び方)を身につける上でとても参考になります。

- 2010年8月26日 林 明夫記 -